

ジメジメ、憂鬱な梅雨時期

住まいの快適レポート

湿気・カビ対策を万全に、快適な暮らしを!

高温多湿となるこれからの時期は、カビの繁殖も活発になり、注意が必要です。室内環境を整え、すっきり快適、健やかな日々を過ごしましょう!

カビ が発生する 主要要因

- 湿度 湿度約 80% で、カビの繁殖は活発に。
- 温度 温度 5～35℃前後で、カビの胞子は付着した表面の栄養と水分を利用して発育。
- 栄養 食品・ホコリ・髪の毛などの有機物質がカビの養分になる。



対策 Point 湿度管理を徹底

カビは、湿度 60% 以下になると発育が鈍るため 50% 程度を目安に。湿度を下げるのに最適な除湿機やエアコンは、メンテナンスを怠ると、カビの温床となってしまうので注意が必要です。



対策 Point 入浴後は高温シャワーを実施

浴室はカビの住処。入浴後は、50℃程度の高温シャワーを浴室内にかけるだけで、カビの撃退をサポート。浴槽や壁などの水滴も拭き取りましょう。

対策 Point 見落としがちな結露も要チェック

窓ガラスの結露を放置すると、窓枠やカーテン、床にもカビが発生するリスクが高まります。水で薄めた食器用洗剤を染み込ませた雑巾で窓ガラスを拭き、仕上げに乾拭きすると結露防止に役立ちます。



対策 Point 基本は窓を開けて換気を

湿気がこもらないよう、窓を開けて換気することが重要。タンスの扉も1日1回は開けて、サーキュレーターを稼働させ、空気の通り道を作りましょう。また家具と壁とを密着せず、10cm 程度離して配置するのが賢明です。

湿気対策に、新聞紙・重曹・竹炭が大活躍!

湿気の吸収力に優れ、消臭効果もある新聞紙・重曹・竹炭を活用しましょう。

- 布団を床に敷く場合は、布団の下に新聞紙を置くと、効率よく除湿可能。
- 重曹は空き瓶に入れて、蓋を開けたままシンク下などに配置を。
- 調湿も叶う竹炭は、靴箱に最適。効果が薄れてきたら、天日干しをすると復活するので、エコなアイテムです。



オススメ商品 リデア

ゆったりとお湯に浸かって過ごす、くつろぎのバスタイム



©株式会社 LIXIL

洗い場からバスタブへの動作をサポートし、収納もたっぷりのスマートエスコートバーで安心して入浴することができます。

また、パッとくるりんボー排水口は渦のチカラで髪の毛やゴミをパッとまとめます。渦でまとまったゴミをポイッとすただけで、お掃除が簡単です。



©株式会社 LIXIL



©株式会社 LIXIL

商品のお問合せは…



(株) 大創建設

〒259-0102 神奈川県中郡大磯町生沢234-1

TEL. 0463-73-3902 FAX. 0463-73-3922 <http://www.oiso-c.co.jp>